

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取西高等学校

| | | | |
|------|---------|-----|-----------|
| 重点項目 | 理数教育重点校 | 提出日 | 令和5年3月31日 |
|------|---------|-----|-----------|

| | |
|--|--|
| 1 学校目標 | |
| 「深い学び」「幅広い学び」を通じて新時代を創造するリーダーの育成を図る。 | |
| 2 重点項目に係る目標・成果 | |
| 目標 | 成果 |
| <p>○SSH等の研究開発を有効に活用した、主体的に知的活動に取り組める課題研究や各種の研修プログラムが充実している。</p> <p>○各種研究会・学会、グローバルサイエンスキャンプ（GSC）やサイエンス系のイベント、校内セミナー等に参加する生徒人数が昨年度より増えている。</p> <p><数値目標></p> <p>○各種研究会・学会、グローバルサイエンスキャンプ（GSC）やサイエンス系のイベント、校内セミナー等の参加者数250名・上位入賞者60名以上</p> <p>○生徒対象SSH事業全体調査において「科学技術や社会に対する興味・関心・意欲」が向上したと答えた生徒が70%</p> <p>○生徒対象SSH事業全体調査において「科学技術や社会に関する学習や探究活動に対する意欲」が向上したと答えた生徒が70%</p> <p>○生徒対象SSH事業全体調査において「実験・観察・データ処理・情報収集し、結果をまとめる力」が向上したと答えた生徒が70%</p> | <p>○学習の内容や手法についての情報共有や教科間の連携をとおして、知の世界の豊かさや深さに触れる授業実践に取り組んだ。</p> <p>○各種研究会の成果や教科を超えた授業公開を基に、教科横断的及び文理融合的、ICTを活用した授業研究等で得た知見を教科内で共有し、授業に活かした。</p> <p><数値結果></p> <p>○各種研究会・学会、グローバルサイエンスキャンプ（GSC）やサイエンス系のイベント等の参加者数258名・上位入賞者48名。</p> <p>○生徒対象SSH事業全体調査において「科学技術や社会に対する興味・関心・意欲」が向上したと答えた生徒が95%。</p> <p>○生徒対象SSH事業全体調査において「科学技術や社会に関する学習や探究活動に対する意欲」が向上したと答えた生徒が94%</p> <p>○生徒対象SSH事業全体調査において「実験・観察・データ処理・情報収集し、結果をまとめる力」が向上したと答えた生徒が93%</p> |
| 3 実施事業 | |
| <p>【高等学校課事業】</p> <p>○思考力・判断力・表現力強化ハイレベル講座</p> <p>・カオス・フラクタル研究の第一人者である講師から、数学（カオス・フラクタル）を考えることは数学以外の分野の研究にもつながっていることなど、現代数学の最先端研究の内容を演習などを通して学ぶことができた。生徒の数学的思考を深め、興味関心を抱かせるものとなった。</p> <p>講師：角大輝氏（京都大学大学院教授）</p> <p>【独自事業】</p> <p>○学会等への生徒派遣</p> <p>全国規模の学会や発表会、科学オリンピック、科学の甲子園等への理解を深めると共に、参加することを通して、生徒の興味・関心を喚起し、科学的思考力や探究力の育成を図った。</p> | |
| 4 総合所見（成果・評価） | |
| <p>・理数教育についてはSSH事業が中心となるが、それを補完、充実するための高等学校課事業、学校独自事業においても有意義な事業が実施できた。</p> <p>・生徒が積極的に各種大会、発表に参加し、全国規模の学会や発表会、科学オリンピック、科学の甲子園等に参加した生徒は258名となり、上位入賞者は48名であった。</p> | |

・生徒対象SSH事業全体調査において「科学技術や社会に対する興味・関心・意欲」が向上したと答えた生徒が95%、「科学技術や社会に関する学習や探究活動に対する意欲」が向上したと答えた生徒が94%、「実験・観察・データ処理・情報収集し、結果をまとめる力」が向上したと答えた生徒が93%と高い結果が示された。生徒の科学的な素養や専門性の向上が見られた。

※枚数任意